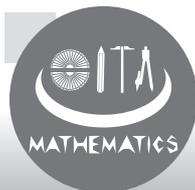


九州数学教育会会員 様  
九州地区各教育委員長 様  
九州地区各学校長 様  
九州算数・数学担当者 様

主催 公益社団法人九州数学教育会  
大分県数学教育会  
後援 公益社団法人日本数学教育学会  
大分県教育委員会  
大分市教育委員会  
公益財団法人日本教育公務員弘済会大分支部



# 第78回

## 九州数学教育会総会 並びに 九州算数・数学教育研究(大分)大会ご案内

令和6年7月29日・30日・31日、大分市において標記の大会(略称：九数教大分大会)を開催いたします。

九州各県の小学校、中学校、高等学校及び大学等の算数・数学教育に携わる教職員が一堂に会し、算数・数学教育の充実と発展のために日頃の研究や実践について発表・協議する大会です。新型コロナウイルス感染症もようやく治まり、平穏を取り戻した中で、本大会を完全対面形式により開催できますことは誠に喜ばしいことです。本大会が、対面による意見交換や相互交流により、算数・数学教育に関する新たな知見や活力を生み出し、九州の算数・数学教育のさらなる発展に寄与する、実りの多い大会となることを切に願っています。

現代社会の激しい変革や教育改革の流れの中で、算数・数学教育においては、教科の特性を見失うことなく、子どもたちの本質的な力を育成する方途を模索する必要があります。本大会では、算数・数学を学ぶ意味を考えながら算数・数学の本質を深く学ぶことで、これからの未来を担っていく子どもたちが育っていくことを願い、全体の研究主題を「なし学ぶんか これからの未来を切り開く算数・数学教育」と設定いたしました。算数・数学を通して未来を切り開く力をどのように培えばよいか、全体講演、各部会講演をはじめとして、分科会研究発表、公開授業・授業研究を通して、皆様とともに熱く議論できることを楽しみにしています。

つきましては、本大会の趣旨や意義をご理解の上、多くの皆様にご参加いただきますようご案内申し上げます。

九州数学教育会会長 添 田 佳 伸  
大分大会実行委員長 川 寄 道 広

- 1 研究主題 「なし学ぶんか これからの未来を切り開く算数・数学教育」
- 2 日 程 令和6年7月29日(月)・30日(火)・31日(水)

月 日	行 事			
7/29 (月)	(会場) J: COMホルトホール大分			
	13:00	事務局長会議 (50)		
	14:00	九州数学教育会理事会 (50)		
	15:00	算数・数学教育研修会 (60)		
		演題 「数学をつくる (Make Math) ～探究と表現～」		
		講師 大分大学特任教授 川寄 道広		
	16:00	九州数学教育会総会・代表委員会 (80)		
	17:40 レセプション			
7/30 (火)	(会場) J: COMホルトホール大分 大ホール			
	8:40	受付 (30)		
	9:10	開会行事 (30)		
	9:40	全体講演 (60)		
		演題 「渋滞のサイエンスと実践 ～数学を活用した渋滞解消法～」		
		講師 東京大学大学院工学系研究科教授 西成 活裕		
	10:40	諸連絡 (15)		
		小学校部会 (会場) ホルトホール大ホール	中学校部会 (会場) ホルトホール大会議室	高等学校部会 10:55 移動・昼食 (85)
	10:55	部会開会行事 (20)	10:55 部会開会行事 (20)	(会場) 大分県立大分西高等学校
	11:15	部会講演 (60)	11:15 部会講演 (60)	12:20 部会開会行事 (20)
	12:15	移動・昼食 (65)	12:15 移動・昼食 (85)	12:40 部会講演 (60)
	(会場) ホルトホール会議室	(会場) 大分大学教育学部附属中学校	13:50 分科会 (140)	
13:20	分科会 (190)	13:40 分科会 (140)	発表40×3	
	発表40×4	発表40×3	16:10 終了	
16:30	終了			
7/31 (水)	(会場) 大分市立金池小学校			
	(会場) 大分大学教育学部附属中学校			
	(会場) 大分県立大分西高等学校			
	8:30	受付 (30)		
	9:00	公開授業① (45)	9:30 研究発表 (30)	9:00 受付 (30)
	10:00	公開授業② (45)	10:10 公開授業 (50)	9:30 公開授業 (50)
	11:00	授業研究 (60)	11:10 授業研究 (50)	10:30 授業研究 (50)
12:10	終了			

※高専・大学部会は両日とも高等学校部会に合流してください。

# ☆小学校部会

7月 <b>30</b> 火	部会総会	会場：ホルトホール 大ホール	10:55~12:15
	部会講演		
	部会講演	演題 「学びに向かう力」と「表現力・判断力・思考力」を育む授業づくり 11:15~ 細水 保宏 氏（明星大学客員教授 兼 明星小学校校長 兼 明星幼稚園園長）	13:20~16:30
分科会	会場：ホルトホール 会議室		

部会研究主題

「学びに向かう力」と「思考力・判断力・表現力」を育む算数科授業の創造Ⅱ  
～「深い学び」を実現する効果的な「対話」活動の組織～

分科会	発表題目	発表者	所属	発表県	指導助言者
1 教育課程	「学びに向かう力」と「思考力・判断力・表現力」を育む授業の創造 ～学習意欲を喚起させる課題設定と主体的に学び合える数学的活動を活かした授業の工夫～ 主体的に課題を解決できる子どもを育てる算数科学習 ～ディスカバリーシートとスタディ・ログの活用を通して～	上鶴 香苗 矢野 恵子	宇佐市立四日市北小学校	大分	木根 主税 (宮崎大学)
	算数科における「能動的に学び続ける」子供の育成 ～子供の「わくわく」が連続し、「なぜ」「おそらく」「もっとやってみよう」が生まれる授業改善を通して～	江崎 美咲	筑前町立東小田小学校	福岡	友永 有司
	「個別最適な学び」を取り入れた指導計画の作成	橋本 太郎	玉名市立大浜小学校	熊本	(大分県教育庁 義務教育課)
2 学習指導法 評価	数学的な見方・考え方を働かせ、主体的に思考・判断・表現する児童の育成 ～考えをもつための教師の意図的な働き掛けと、児童主体による話し合い活動の充実を通して～ 「自己成長を実感し合い、学びに向かう力を高め合う児童の育成」 ～算数科授業における自己評価、相互評価の充実を通して～	林田 由美	雲仙市立小浜小学校	長崎	吉井 貴寿 (熊本大学)
	主体的に考え・表現する子どもを育てる算数科の授業づくり ～「使えた」を実感させる学習指導過程の工夫を通して～ 「主体的に学習に取り組む児童を育成する指導の工夫」 ～見通しを持たせる課題の焦点化と振り返りの充実を通して～	中川 拓	大分市立宗方小学校	大分	牧 伸行
	「量分数概念の確立を目指した算数科授業の開発とその考察」 ～第3学年「分数」における「1/2mはどれだけ？」を中心として～	山下 達也	行橋市立泉小学校	福岡	(大分県教育庁 大分教育事務所)
3 数と計算	「量分数概念の確立を目指した算数科授業の開発とその考察」 ～第3学年「分数」における「1/2mはどれだけ？」を中心として～ 数学的な見方・考え方を働かせた深い学びの実現 ～対話的な活動の充実を目指した実践を通して～	池田 大徳	佐賀大学教育学部附属小学校	佐賀	山口 武志 (鹿児島大学)
	「分数テープを用いた分数指導のあり方」 ～第4学年 分数をくわしく調べよう の授業を通して～ 「思考をともなった立式のための算数科学習指導の在り方」 ～数と計算領域の指導を通して～	今田 龍哉	豊後大野市立百枝小学校	長崎	益戸 順一
	「思考をともなった立式のための算数科学習指導の在り方」 ～数と計算領域の指導を通して～	赤嶺恵里子	宮崎市立江平小学校	大分	(大分市教育委員会 学校教育課)
4 図形	「自ら「数学的」に探究する子どもを育む算数科学習」 ～「のりしろ」を使った箱作りの活動を通して～ 円を構成する要素に着目し、図形を認識する力を高める指導の工夫 ～模様を作図する学習指導を通して～	内田 武瑠	熊本大学教育学部附属小学校	熊本	大林 将呉 (佐賀大学)
	「主体的に学習に取り組む児童を育成する指導の工夫」 ～見通しを持たせる課題の焦点化と振り返りの充実を通して～	阿部 洋介	鳥栖市立鳥栖小学校	佐賀	森 貴央
	主体的・対話的で深い探究過程を通して、数学的思考力、判断力、表現力と学びに向かう力を育む算数科授業のあり方 ～1時間で完結する問題解決的な学習の工夫と効果的な評価のあり方～ 「単位数当たりの大きさ」の理解を深めるためのICTの活用 ～「こみぐあい」の意味理解を通して～	渡名喜 聖	沖縄市立宮里小学校	沖縄	(大分県教育センター)
5 測定 変化と関係	「自ら「数学的」に探究する子どもを育む算数科学習」 ～「のりしろ」を使った箱作りの活動を通して～ 円を構成する要素に着目し、図形を認識する力を高める指導の工夫 ～模様を作図する学習指導を通して～	松原 大佳	日田市立前津江小学校	大分	森 力 (琉球大学)
	「主体的に学習に取り組む児童を育成する指導の工夫」 ～見通しを持たせる課題の焦点化と振り返りの充実を通して～	御前 一真	別府市立南立石小学校	大分	吉武 諒
	「自信をもって表現できる児童を育成する算数科授業のあり方」 ～説明する力を高めるための手立てを通して～ 数学的な見方・考え方を働かせる算数科学習指導 ～「問いを生み出す教材アレンジ」と「互いの考えを聴き合う場づくり」を通して～	古波津 崇	豊見城市立上田小学校	沖縄	(大分市教育委員会 学校教育課)
6 データの活用	「自信をもって表現できる児童を育成する算数科授業のあり方」 ～説明する力を高めるための手立てを通して～ 数学的な見方・考え方を働かせる算数科学習指導 ～「問いを生み出す教材アレンジ」と「互いの考えを聴き合う場づくり」を通して～	伊藤 匠	川崎町立真崎小学校	福岡	宮内 香織 (長崎大学)
	データを正しく捉えることにより必要感をもち、 目的に応じてデータを活用しようとする子供の育成	柴田 重徳	佐伯市立鶴岡小学校	大分	小野 雄平
	「思考することの楽しさを追求した算数科授業の構築」 ～効果的な「対話」を通して～ 統計的な問題解決のよさに気づき、データや分析結果を生活や学習に活用しようとする児童の育成 ～統計的探究プロセスを取り入れた単元構成を通して～	木山 綾華 鮫島 圭介	出水市立鶴荘学園 出水市立西出水小学校	鹿児島	(大分県教育庁 別府教育事務所)
7 問題解決	「思考することの楽しさを追求した算数科授業の構築」 ～効果的な「対話」を通して～ 統計的な問題解決のよさに気づき、データや分析結果を生活や学習に活用しようとする児童の育成 ～統計的探究プロセスを取り入れた単元構成を通して～	松井 奈々	西海市立西海東小学校	長崎	今井 一仁 (福岡教育大学)
	データやその分析結果を生活や学習に活用しようとする児童の育成 ～学ぶ意欲を高め、数学的な見方・考え方を働かせる授業をとおして～	柴田 重徳	佐伯市立鶴岡小学校	大分	二宮 孝明
	「算数科の学習において、思考力・判断力・表現力を高める指導の在り方」 ～協働的な問題解決学習を通して～ 問題発見・解決し続ける算数好きの子供の育成 ～「数学的な見方・考え方が豊かで確かなものとなっていく算数科の授業づくり」～ 「問題解決の過程において豊かな学びを実現する算数科授業の創造」 ～問題解決過程に「深める問い」を位置付けた授業を通して～ 「学ぶ意義を捉え、主体的に対話する児童を育む算数科授業の在り方」 ～問題解決型授業の単元構成を見つめ直して～	沖田 一美	八代市立太田郷小学校	熊本	(大分市教育委員会 市教育センター)
	「算数科の学習において、思考力・判断力・表現力を高める指導の在り方」 ～協働的な問題解決学習を通して～	高山 輝也	日之影町立宮水小学校	宮崎	
	問題発見・解決し続ける算数好きの子供の育成 ～「数学的な見方・考え方が豊かで確かなものとなっていく算数科の授業づくり」～ 「問題解決の過程において豊かな学びを実現する算数科授業の創造」 ～問題解決過程に「深める問い」を位置付けた授業を通して～	前田 翔平	薩摩川内市立 東郷学園義務教育学校	鹿児島	
	「学ぶ意義を捉え、主体的に対話する児童を育む算数科授業の在り方」 ～問題解決型授業の単元構成を見つめ直して～	諸見里昌良	白杵市立野津小学校	大分	
		久保田航生	鹿島市立浜小学校	佐賀	

<b>31</b> 水	会場：大分市立金池小学校	受付/8:30～	◎各学年2本、計12本の公開授業
-------------	--------------	----------	------------------

学年	氏名(所属)	単元名	助言者	学年	氏名(所属)	単元名	助言者
1年	上野 由香 (大分市立金池小)	くらべかた	山口 武志 (鹿児島大学)	4年	鴛海 圭佑 (大分市立明野北小)	折れ線グラフ	今井 一仁 (福岡教育大学)
	安藤 ひとみ (別府市立鶴見小)	10よりおおきいかず	木根 主税 (宮崎大学)		末廣 健太 (大分市立南大分小)	面積	大林 将呉 (佐賀大学)
2年	後藤 悦久 (由布市立挾間小)	長さ	友永 有司 (大分県教育庁 義務教育課)	5年	安藤 美紗子 (大分市立金池小)	変わり方を調べよう (2つの量の変わり方)	吉井 貴寿 (熊本大学)
	古屋 玲子 (大分市立戸次小)	三角形と四角形	益戸 順一 (大分市教育委員会 学校教育課)		山村 充乃 (大分市立明治小)	小数のわり算	宮内 香織 (長崎大学)
3年	山口 友美 (大分市立南大分小)	分数	甲斐 義一 (大分県教育庁 義務教育課)	6年	平岡 拓也 (大分市立明治小)	データの見方	二宮 孝明 (大分市教育委員会 市教育センター)
	井戸 雅 (別府市立大平山小)	表とグラフ	吉武 諒 (大分市教育委員会 学校教育課)		重松 優子 (別府市立亀川小)	比例と反比例	森 力 (琉球大学)

# ☆中学校部会

7月 <b>30</b> 火	部会総会	会場：ホルトホール 大会議室	10:55~12:15
	部会講演		
	部会講演 11:15~	演題 個別最適な学びと協働的な学びの往還で大切にしたいこと 中川 裕之 氏 (東京理科大学理学部第一部数学科・理学研究科科学教育専攻 准教授)	
分科会	会場：大分大学教育学部附属中学校	13:40~16:00	

部会研究主題

「数学的活動を通して、主体的・対話的で深い学びを実現する数学教育」

分科会	発表題目	発表者	所属	発表県	指導助言者
1 教育課程	「生きていく力を育てる」という視点から見た数学の指導はどうあればよいか ～主体的・対話的で深い学びの実現を目指して～	山下 昭広	竹田市立竹田南部中学校	大分	和田 信哉 (鹿児島大学) 河村 真由美 (大分大学)
	「主体的に学ぶ生徒の育成」 ～「個別最適な学び」と「協働的な学び」を一体的に充実させる取組を通して～	瀬戸口 紘	出水市立米ノ津中学校	鹿児島	
	「生徒の数学的活動を促す授業づくりに関する研究」 ～図形領域に焦点をあてて～	野本 純一	長崎市立長崎中学校	長崎	
2 学習指導法 評価	「数学的な活動を通して、全ての生徒が主体的に学びに向かい、考えを深める数学教育をめざして」 ～思考力・判断力・表現力を育成するための評価規準、評価方法、指導方法はどうか～	熊谷 恵至	中津市立中津中学校	大分	山下 佳子 (長崎大学) 河野 寛治 (大分県教育庁)
	「主体的な態度を育てる学習指導法」 ～自ら選択して取り組む学習スタイルを通して～	石井 奨悟	日向市立大王谷学園	宮崎	
	「『問い』を持ち、主体的に学ぶ授業の工夫」 ～取り組み方の自己決定を促す授業づくり～	上原 卓也	那覇市立安岡中学校	沖縄	
3 数と式	「主体的に学べる多様な学びの実現と思考力・判断力・表現力の育成」 ～数と式の領域を通して～	富高 竜行	佐伯市立彦陽中学校	大分	添田 佳伸 (宮崎大学) 大木 洋典 (大分教育事務所)
	「生徒が主体的に学びに向かい、学ぶ楽しさを実感する授業づくり」 ～「数と式」領域での、日常と結びつけた教材を取り入れた授業実践～	吉田 優太	菊陽町立武蔵ヶ丘中学校	熊本	
	「誰一人置き去りにしない 数学の授業を目指して」 ～主体的・対話的で深い学びの実践 数と式編～	細元 孝太	宮崎市立宮崎北中学校	宮崎	
4 図形	「数学的活動を通して、主体的・対話的で深い学びを実現する数学教育」 ～図形領域における説明する力の育成～	高倉 光平	佐伯市立佐伯城南中学校	大分	松本 直己 (琉球大学) 新納 美保 (別府教育事務所)
	「『問い』をもち、主体的に学ぶ授業の工夫」 ～取り組み方の自己決定を促す授業づくり～	安谷屋 傑	那覇市立真和志中学校	沖縄	
	「主体的に学習に取り組み、表現力を高める図形領域の授業づくり」 ～考えを伝え合うグループ構成の工夫～	武田奈津美	北九州市立高須中学校	福岡	
5 関数	「自立的・協働的に問題解決に取り組み、活用力を伸ばす授業づくり」 ～1人1台端末の効果的な活用を通して～	本河 秀喜	九重町立このえ緑陽中学校	大分	米田 重和 (佐賀大学) 三浦 建人 (大分県教育センター)
	「関数領域における、教科の本質的な資質・能力と新たな資質・能力とのバランスのとれた授業づくりの実践について」 ～課題発見・解決学習を基に、教科等横断的なカリキュラム・マネジメントの取組を見通して～	田原春幸誠	鹿児島市立紫原中学校	鹿児島	
	「数学的な表現力を育成する授業づくりの研究」 ～『学び合い』や算数・数学の学習過程を意識した授業を通して～	中尾 恵	基山町立基山中学校	佐賀	
6 データの活用	「批判的に考察し判断する力の育成」	佐藤 千笑	別府市立鶴見台中学校	大分	清水 紀宏 (福岡教育大学) 中原 佐織 (大分市教育委員会)
	「批判的に考察し、判断する力を育む数学科学習指導」 ～単元「標本調査」における調査方法や結果を話し合う活動と振り返り活動を通して～	甲斐田沙織	広川町立広川中学校	福岡	
	「データに基づいた批判的考察力・問題解決能力の育成」 ～箱ひげ図の授業実践を通して～	洲上 亮子	鹿児島市立東部中学校	佐賀	
7 数学的な 見方・考え方	「『数学的な見方・考え方』を育むための学びあい」 ～関数分野の指導を通して～	田嶋 一翔	大分市立植田南中学校	大分	吉村 昇 (熊本大学) 豊田 早穂 (大分市教育委員会)
	「数学的な見方・考え方を育む授業を目指して」 ～鳥原市教育研究会数学科部会の取組を通して～	山崎 岳史	平戸市立大島中学校	長崎	
	「数学的な見方・考え方を働かせるための指導法の工夫」 ～根拠をもとに伝え合う活動を通して～	工藤 隆洋	南阿蘇村立南阿蘇中学校	熊本	

<b>31</b> 水	会場：大分大学教育学部附属中学校	受付/9:00～	◎各学年2本、計6本の公開授業
-------------	------------------	----------	-----------------

学年	氏名(所属)	領域	助言者	助言者
1年	深町 良輔 (大分市立大東中学校)	図形	河野 寛治 (大分県教育庁)	松本 直己 (琉球大学)
	本田 裕樹 (大分市立坂ノ市中学校)	数と式	大木 洋典 (大分教育事務所)	添田 佳伸 (宮崎大学)
2年	工藤 裕貴 (大分市立植田中学校)	関数	中原 佐織 (大分市教育委員会)	米田 重和 (佐賀大学)
	末松 哲郎 (大分大学教育学部附属中学校)	データの活用	河村 真由美 (大分大学)	清水 紀宏 (福岡教育大学)
3年	甲斐 一翠 (大分県立大分豊府中学校)	図形	和田 信哉 (鹿児島大学)	山下 佳子 (長崎大学)
	泉 啓二 (大分市立南大分中学校)	数と式	豊田 早穂 (大分市教育委員会)	吉村 昇 (熊本大学)

# ☆高等学校部会

7月 <b>30</b> 火	部会総会	会場：大分県立大分西高等学校	12:20~13:40
	部会講演		
	部会講演 12:40~	演題 未来は自分で切り拓く~常識を超えて新しい学びの旅へ 廣津留 すみれ 氏 (ヴァイオリニスト)	会場：大分県立大分西高等学校

部会研究主題

「数学的な見方・考え方と生徒の主体的に考える態度を一体的に育む数学教育」

分科会	発表題目	発表者	所属	発表県	指導助言者
1 教育課程 学習指導法 評価	『感情曲線を意識したギミックを活用する数学授業の研究』 ~非認知能力の育成を観点に入れた授業のデザイン~	佐々木修一郎	福岡県立糸島高等学校	福岡	榎原 幸二 (熊本大学)
	『一人一台端末の活用について』	幸田 光顕	熊本県立高森高等学校	熊本	
	『数学で試行錯誤するために』 ~「初めの一行」を書くための方策とそれに伴う教材研究について~	高佐 和希	宮崎県立延岡星雲高等学校	宮崎	
2 教育課程 学習指導法 評価	『みんなで作る新しい授業』 ~自ら学びたいと思う生徒を増やすために~	一宮 愛菜	熊本県熊本中央高等学校	熊本	向江 頼士 (宮崎大学)
	『主体的に学ぶ意欲を向上させる数学の授業の工夫』 ~タブレット端末を活用した個別指導を通して~	村口 太一	沖縄県立辺土名高等学校	沖縄	
	『数学科授業における生徒の主体的な学びの育成を目指す方策について』	西 弘子	大分県立宇佐高等学校	大分	
3 学習指導法 評価	主体的に学習に取り組む態度の育成を目指して	折田 幸平	鹿児島県立種子島高等学校	鹿児島	大野 貴雄 (大分大学)
	『主体的に学習に取り組む態度を育むための指導と評価の工夫』 ~週末課題による作問学習の実践~	西銘 伸悟	沖縄県立宜野座高等学校	沖縄	
	『「主体的に学習に取り組む態度」の評価について』 ~レポートによる学習評価の実践報告~	水江 弥生	大分県立白杵高等学校	大分	
4 学習指導法 評価	『自律的な学習者を育成する数学の授業実践』 ~反転授業による完全習得学習を目指す研究を通して~	盛田 彬彦	沖縄県立向陽高等学校	沖縄	戸上 健治 (大分県立中津南高等学校校長)
	『相関係数・正規分布の活用事例解説』	羽島 隆史	福岡県立福岡魁誠高等学校	福岡	
	『統計的な推測の授業について』 ~共通テストを意識した指導内容の工夫~	柚木 和也	大分県立別府翔青高等学校	大分	
5 学習指導法 評価	『「思考を深める問い」の実践について』 ~生徒が気づき、より深く考えるきっかけをつくるための教師の働きかけ~	北川 昭彦	長崎県立大村高等学校	長崎	岩田 耕司 (福岡教育大学)
	『タブレット端末を利用した授業の実践』	吉村 祐	宮崎県日章学園高等学校	宮崎	
	『数学授業と英語』	芝原 菊志	大分県立日田林工高等学校	大分	
6 数学ⅠA 大学入試 自由研究	『イメージがひろげられる教材作りを目指して』 ~弧度法・等積変形・空間図形の教材作りから~	林 道宏	福岡県立青豊高等学校	福岡	山城 康一 (琉球大学)
	『大学入試に対応できる効果的な授業スタイルの確立』 ~ICT、グループワーク等の効果的な活用~	中尾 健太	鹿児島県立鶴丸高等学校	鹿児島	
	『しごと・あそびごと・ひとりごと』 ~ウェブサイトを活用した数学的探究活動~	手嶋 章博	大分県立杵築高等学校	大分	
7 数学ⅡBC 大学入試 自由研究	『数学における探究的な学びについて』 ~東京学芸大学との連携による授業実践~	納富 大志	長崎県立佐世保南高等学校	長崎	中川 幸久 (長崎大学)
	『ICTを活用した専門系高校の大学入試対策』 ~Googleフォームを活用した数学演習~前任校日向工業高校での取り組み~	山本 大輔	宮崎県立五ヶ瀬中等教育学校	宮崎	
	『順列を利用した整数の総和の公式について』	津村 勝平	鹿児島県神村学園高等部	鹿児島	
8 数学Ⅲ 大学入試 自由研究	円錐面のベクトル方程式を利用した双円錐 (bicone) 領域に関する高専 流:東京大学入試問題の解法	橋松 祐介	鹿児島工業高等専門学校	鹿児島	愛甲 正 (鹿児島大学)
	『SSH Mission IIにおける取り組み事例』	植松 耕平	長崎県立長崎西高等学校	長崎	
	『動画コンテンツによる課題学習への反応と有効性について』	中山浩一郎	佐賀県立白石高等学校	佐賀	
9 大学入試 自由研究	『pythonで学ぶ高校数学(仮)』	小玉 哲寛	熊本県立上天草高等学校	熊本	川中子 正 (佐賀大学)
	『正四面体の折り紙を用いた体験的な学習について』	片瀬 雄二	佐賀県立神埼清明高等学校	佐賀	
	『生徒の自己肯定感の高揚と学ぶ意欲の持続性を保つために』 ~高校入学期における伴走の在り方~	田代 修三	大分県立大分雄城台高等学校	大分	

<b>31</b> 水	会場：大分県立大分西高等学校	受付/9:00~	◎各科目、計6本の公開授業
-------------	----------------	----------	---------------

学年	氏名	題材名	助言者	助言者
1年	柿内 隆志 (大分南高等学校)	数学A「場合の数と確率」	榎原 幸二 (熊本大学)	瓜生田 浩司 (大分県教育委員会)
2年	柴田 由美子 (情報科学高等学校)	数学I(数学II)「図形と計量」	岩田 耕司 (福岡教育大学)	阿部 哲士 (大分県教育センター)
2年	佐藤 陽一 (鶴崎工業高等学校)	数学II「複素数と方程式」	愛甲 正 (鹿児島大学)	大津 俊一 (大分県教育委員会)
2年	磯崎 俊介 (別府鶴見丘高等学校)	数学B「数列」	山城 康一 (琉球大学)	塩月 孝弘 (大分県教育委員会)
3年	松本 隆宏 (大分上野丘高等学校)	数学III「積分法の応用」	中川 幸久 (長崎大学)	向江 頼士 (宮崎大学)
3年	長野 侑樹 (大分豊府高等学校)	数学C「平面上のベクトル」	川中子 正 (佐賀大学)	大野 貴雄 (大分大学)

## ★全体講演★

演題 「渋滞のサイエンスと実践 ～数学を活用した渋滞解消法～」

講師 西成 活裕 氏 (東京大学 大学院工学系研究科 教授)

### 【略 歴】

1985年 茨城県立土浦第一高等学校卒業  
1986年 東京大学理科一類入学  
1990年 東京大学工学部航空学科卒業  
1995年 東京大学大学院工学系研究科航空宇宙工学専攻博士課程修了博士 (工学)  
1995年 山形大学工学部機械システム工学科助手、1997年同大学助教授  
1999年 龍谷大学理工学部数理情報学科助教授  
2005年 東京大学大学院工学系研究科航空宇宙工学専攻准教授、2009年同大学教授  
2009年 東京大学先端科学技術研究センター教授  
2023年 東京大学大学院工学系研究科航空宇宙工学専攻教授 現在に至る

### 【著 書】

「逆説の法則」(新潮選書)、「渋滞学」(新潮選書)  
「とんでもなく役に立つ数学」(角川ソフィア文庫)  
「文系の私に超わかりやすく数学を教えてください!」(かんき出版)



## ★部会講演★

### 小学校 部会

演題 「『学びに向かう力』と『表現力・判断力・思考力』を育む授業づくり」

講師 細水 保宏 氏 (明星大学客員教授 兼 明星小学校校長 兼 明星幼稚園園長)

### 【略 歴】

神奈川県生まれ。横浜国立大学大学院数学教育研究学科修了。横浜市公立小学校、筑波大学附属小学校教諭、同副校長を経て、平成27年より明星学苑教育支援室長兼明星大学客員教授に就任、平成29年より明星小学校校長、令和6年より明星幼稚園園長を兼任。併せて、早稲田大学非常勤講師。全国算数授業研究会元会長、ガウスの会会長、教育出版教科書「算数」著者。また小学校学習指導要領解説算数科編(平成20年度版)作成協力委員。

### 【著 書】

「算数のプロが教える授業づくりのコツ」(東洋館)、「算数のプロが教える教材づくりのコツ」(東洋館)、「細水保宏の算数授業のつくり方」(東洋館)、「算数が大好きになるコツ」(東洋館)、「随想集『スカッとさわやかに!』」(東洋館)。「細水保宏の算数の強化書(小学館)」。「確かな学力をつける算数授業の創造」(明治図書)、「確かな学力をつける板書とノートの活用」(明治図書)、「細水保宏の教材研究ノート」(学事出版)、「算数のひみつ」(高橋書店)。「トホホの算数事典」(西東社)、「99%の小学生は気づいていない!? 統計グラフのカラクリ」(Z会)、など、多数。



### 中学校 部会

演題 「個別最適な学びと協働的な学びの往還で大切にしたいこと」

講師 中川 裕之 氏 (東京理科大学 理学部第一部数学科・理学研究科科学教育専攻 准教授)

### 【略 歴】

2006年～国立教育政策研究所教育課程研究センター研究開発部学力調査官  
2011年～大分大学教育学部  
2023年～東京理科大学理学部

### 【著 書】

「新しい算数教育の理論と実践」(ミネルヴァ書房)  
「新訂 算数科教育の研究と実践」(日本教育研究センター)  
「教科教育学シリーズ③算数・数学科教育」(一藝社)  
「続・新しい算数数学教育の実践を目指して」(東洋館出版)



### 高等学校 部会

演題 「未来は自分で切り拓く～常識を超えて新しい学びの旅へ」

講師 廣津留すみれ 氏 (ヴァイオリニスト)

### 【略 歴】

大分市出身。高校在学中にNYカーネギーホールにてソロデビュー。ハーバード大学(学士)卒業、ジュリアード音楽院(修士)修了。世界的チェリストのヨーヨー・マと度々の共演を経て、米国にて演奏活動を拡大。The Knightsのメンバーとしてグラミー賞2022にノミネート。日本でも東京フィルハーモニー交響楽団や関西フィルハーモニー管弦楽団などとの共演や『徹子の部屋』『題名のない音楽会』などに出演。大分市教育委員、国際教養大学特任准教授、成蹊大学客員准教授、内閣府教育未来創造会議構成員(議長:岸田文雄内閣総理大臣)、『羽鳥慎一モーニングショー』金曜レギュラー。著書に『超・独学術』など多数。

### 【著 書】

『ハーバード・ジュリアードを卒業した私の「超・独学術」』KADOKAWA  
『私がハーバードで学んだ世界最高の「考える力」』ダイヤモンド社  
『ハーバード・ジュリアードを首席卒業した私が見てきた「新・世界の常識」』KADOKAWA  
訳書『イツァークヴァイオリンを愛した少年』音楽之友社(トレーシー・ニューマン著/アビゲイル・ハルピン絵)  
『アメリカ生活で磨いた ネイティブがよく使う英会話フレーズ』集英社



- 3 大会参加申込 次ページ「大会について I. 参加申込について」参照
- 4 大会参加費 5,000円
- 5 アクセス

**全体会場までのアクセス**

全体会場（ホルトホール大分）

- ・JR大分駅から 徒歩1分 （駐車場の準備はございません。お近くの有料駐車場をご利用ください。）

**分科会場までのアクセス**

小学校部会 大分市立金池小学校までのアクセス

- ・JR大分駅から 徒歩約5分 （小学校内に駐車場はございません）

中学校部会 大分大学教育学部附属中学校までのアクセス

- ・JR大分駅から 徒歩約22分（1.5km）（中学校内に駐車場も準備しています）
- ・ホルトホール大分からのシャトルバスを準備しています（30日の分科会のみ）

高等学校部会 大分県立大分西高等学校までのアクセス

- ・JR大分駅から 徒歩約22分（1.5km）（高等学校内に駐車場はございません）
- ・JR大分駅から バス（大分交通） 乗車時間約13分（170円）  
大分駅前（駅北側バス停大分交通7番のりば） → 大分西高校前
- ・JR大分駅から タクシー 約8分（900円程度）

## ★各会場及び事務局★

会場	住所	連絡先
J:COMホルトホール大分	大分市金池南1丁目5-1	097-576-7555
大分市立金池小学校	大分市金池町3丁目1-90	097-534-2500
大分大学教育学部附属中学校	大分市王子新町1番1号	097-543-6732
大分県立大分西高等学校	大分市新春日町2丁目1-1	097-543-1551

事務局	代表	住所	連絡先
大会本部 大分県立大分上野丘高等学校	糸園 良太郎	大分市上野丘2丁目10番1号	097-543-6249
小学校 大分市立南大分小学校	園田 和彦	大分市二又町2丁目4番1号	097-544-2539
中学校 大分市立神崎小中学校	池田 憲彦	大分市本神崎945-2	097-576-0005
高等学校 大分県立大分豊府高等学校	銅城 絵里	大分市花園3丁目3番1号	097-546-2222

## ★会場案内図★



# 第78回九州算数・数学教育研究（大分）大会について

## I. 参加申込について

第78回九州数学教育会総会並びに九州算数・数学教育研究（大分）大会

申込特設サイトよりお申し込みください。

お申込みページURL：

[https://eventpay.jp/event\\_info/?shop\\_code=9657193995670326&EventCode=P270613602](https://eventpay.jp/event_info/?shop_code=9657193995670326&EventCode=P270613602)

申込締切日 2024年7月28日(日)



【申込用QRコード】  
こちらのQRコードか  
らも申込ができます。

(1). 申込みサイトから次のいずれかの決済方法でお支払いください。

クレジットカード決済、コンビニ決済、ペイジー決済

(2). 大会参加費（5,000円）の納入期限は7月29日（月）になります。

早めの納入にご協力ください。

※ 恐縮ですが、お電話でのお申し込みはトラブルの原因になりますので、受け付けておりません。

※ 支払い完了メールに領収書ダウンロード用URLが添付されます。

領収証が必要な方は、ダウンロードの上、印刷していただきますようお願いいたします。

※ 大会当日は、事前の参加申込がお済みでない方の当日受付も準備いたしますが、手続きにお時間を要する場合がございます。できる限り上記の要領で、事前にお申し込みください。

## II. 大分大会事務局より諸連絡

※ 宿泊先の斡旋は行いません。また、お弁当の注文受付も行いません。

大分市には多くの宿泊施設がございます。また、大会会場近くにおいしいお食事処がございます。

皆様のご都合に合わせて選んでいただけると幸いです。

※ 働き方改革による運営側の負担軽減に伴い、大会の実施にあたり皆様にご不便をおかけいたしますことをお詫び申し上げます。

※ 第2次案内（最終案内）以降の大会についての重要なお知らせは、九数教HPにて通知いたします。

九数教HP（公益社団法人九州数学教育会）：<http://wp.kyusukyo.org/>

※ 悪天候などでやむを得ず大会を中止にする場合は、大会3日前までに九数教HPにて通知いたします。

中止の場合は研究集録を送付いたしますことで、大会参加に替えさせていただくことをご了承ください。



第78回九数教大分大会実行委員会事務局

〒870-0835 大分市上野丘2丁目10番1号

大分県立大分上野丘高等学校 糸園 良太郎

TEL 097-543-6249

FAX 097-546-5400